

龍谷大学 新入生 履修登録手続編

2025年 龍谷大学法学部教務課

履修登録の手続きを以下へ記載します。履修登録に関する案内（本内容も含む）や履修要項などを十分活用し正しく履修登録を行うようにしてください。わからない点や理解が不十分だと感じる点があれば法学部教務課までご相談ください。

目次

1. 履修登録の準備 基本事項の確認	2
1-1. 用語の解説	2
1-2. 履修登録の制限単位数について	3
2. 履修登録の流れ	3
3. 具体的な登録方法について	4
3-1. 必修科目・履修指導科目を確認する	4
3-2. 必修科目と履修指導科目以外の科目（選択科目）について確認する	6
3-3. 教養科目の分野について	6
3-4. 教養科目の科目群について	7
3-5. 専攻科目について	10
3-6. シラバス検索を行う	10
3-7. 具体的に科目を選択する	12
4. 抽選・選抜登録（第1回履修登録）とオープン登録（最終履修登録）について	13
5. その他	13

1. 履修登録の準備 基本事項の確認

1-1. 用語の解説

★【単位】

学修の量を数字で表すもの。科目を履修して単位を修得し、定められた単位数（卒業要件単位）を満たすことで、卒業が認定される。

★【オープン登録】（最終履修登録）

科目を履修するための手続きで、この手続きがなければ単位認定されない。

★【抽選・選抜登録】（第1回履修登録）

受講者数を調整するため、通常の履修登録（オープン登録）に先立って行われるもの。

○抽選登録…教養科目や言語科目（選択外国語科目）において必要な手続き

○選抜登録…必修外国語の再履修や一部の専攻科目において必要な手続き

★【専攻科目】

法学・政治学を専門的に学修する科目

★【教養科目】

幅広い学修、総合的判断力を養う科目（言語科目も含む）

★【ポータルサイト】

「履修登録」や時間割の確認、大学からのお知らせを確認できる Web ツール

★【manaba course】

各授業の課題管理や教員との情報共有機能などが利用できる学習管理システム

★【シラバス】

授業の内容や進め方を示す計画書

1-2. 履修登録の制限単位数について

- I. 法学部は Semester 制であり 1 年間に前期・後期に区分しています。1 年生の前期が第 1 Semester、後期が第 2 Semester と順に数字が大きくなっていきます。
- II. 第 6 Semester までは半期ごと、22 単位までが登録制限単位数となります。
- III. 4 年生（第 7・第 8 Semester）以上のみ 1 年間で 44 単位が登録制限単位数になります。
- IV. 4 単位科目である通年科目の登録単位数は前期 2 単位、後期 2 単位として計算します。

学年	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
前期	第 1 Semester 22 単位	第 3 Semester 22 単位	第 5 Semester 22 単位	第 7・第 8 Semester 44 単位
後期	第 2 Semester 22 単位	第 4 Semester 22 単位	第 6 Semester 22 単位	

※履修登録制限単位 22 単位

※通年科目（4 単位科目）の登録単位数は前期 2 単位、後期 2 単位として計算します。

2. 履修登録の流れ

- A) 時間割（登録する科目）を決める
- B) 決めた科目の抽選・選抜登録（第 1 回履修登録）を行う
- C) 抽選・選抜登録の結果を踏まえオープン登録（最終履修登録）する
- D) 履修登録結果どおり、授業に参加する

3. 具体的な登録方法について

⇒以下の手順を踏んでまずは時間割を組んでみましょう

3-1. 必修科目・履修指導科目を確認する

第1段階として、自分が受講する必修科目および履修指導科目を確認する必要があります。

必修科目とは・・・卒業要件を満たすために必ず履修しなければならない科目です。

履修指導科目とは・・・専攻科目を4年間学修するうえで基本となる科目の中から、特に履修するよう指導している科目です。

つまり、これから法学部で学ぶための基礎科目といえますので、履修登録の際にあらかじめ該当のクラスが履修登録の画面に「確定」で表示されています。履修指導科目は第2セメスター（1年生後期）まで対象としてあります。

<全体概要> 必修科目と履修指導科目を記載した時間割

	月	火	水	木	金
1 講時	民法（入門・ 総則Ⅰ）				英語総合Ⅰ （B）
2 講時	初修外国語Ⅰ	現代社会と 政治	基礎演習	初修外国語Ⅰ	憲法ⅠA（人 権総論）
3 講時		英語総合Ⅰ （A）	仏教の思想A		
4 講時					
5 講時					

赤字：必修科目

青字：履修指導科目

必修科目と履修指導科目は受講することが決まっている科目になります。中には皆さんの学籍番号でクラス分けされる科目もあるので、自分自身のクラスを確認してください。分かりやすくするため、必修科目と履修指導科目に分けて記載します。

<必修科目> 合計6単位の登録

	月	火	水	木	金
1 講時	民法（入門・ 総則 I）				英語総合 I （B） <1 単位>
2 講時	初修外国語 I <ペアで2 単位>	現代社会と 政治	基礎演習	初修外国語 I <ペアで2 単位>	憲法 I A（人 権総論）
3 講時		英語総合 I （A） <1 単位>	仏教の思想 A <2 単位>		
4 講時					
5 講時					

必修科目の登録単位数は「初修外国語 I」「英語総合 I（A）」「英語総合 I（B）」「仏教の思想 A」の合計6単位です。「初修外国語 I」はペア科目であり、1週間にある2回の授業をあわせて2単位となります。

<履修指導科目> 合計8単位の登録

	月	火	水	木	金
1 講時	民法（入門・ 総則 I） <2 単位>				英語総合 I （B）
2 講時	初修外国語 I	現代社会と 政治 <2 単位>	基礎演習 <2 単位>	初修外国語 I	憲法 I A（人 権総論） <2 単位>
3 講時		英語総合 I （A）	仏教の思想 A		
4 講時					
5 講時					

履修指導科目の登録単位数は「民法（入門・総則 I）」「現代社会と政治」「基礎演習」「憲法 I A（人権総論）」の合計8単位です。

3-2. 必修科目と履修指導科目以外の科目（選択科目）について確認する

先述の全体概要で確認したとおり、必修科目 6 単位、履修指導科目 8 単位の合計 14 単位分はあらかじめ履修登録されています。

1 学期に登録できる上限の単位数は 22 単位であるため、残り 8 単位分を登録できることになります。この 8 単位分を自分自身で選択し、ポータルサイトから登録します。

表にすると以下のとおりです。

必修科目	6 単位	あらかじめ履修登録されている
履修指導科目	8 単位	あらかじめ履修登録されている
選択科目	8 単位	ポータルサイトから履修登録が必要
合計	22 単位	

教養科目（幅広い学修、総合的判断力を養う科目（言語科目も含む））および専攻科目（法学・政治学を専門的に学修する科目）から残り 8 単位の選択科目を選びます。

3-3. 教養科目の分野について

教養科目は人文科学系科目、社会科学系科目、自然科学系科目、スポーツ科学系科目、学部・センター等提供科目の 5 つに分類されます。そのうち、上の 3 つについてはそれぞれの分野で 1 科目 2 単位以上修得する必要があります（分野必修）。どの科目がどの分野に属しているかなどの詳細については、入学してから履修要項などをみて確認するようにしてください。

<教養科目の科目区分>

人文科学系科目	1 科目（2 単位以上）必修	※それぞれの分野で必修
社会科学系科目	1 科目（2 単位以上）必修	
自然科学系科目	1 科目（2 単位以上）必修	
スポーツ科学系科目		
学部・センター等提供科目		

3-4. 教養科目の科目群について

教養科目においては 3-3 で説明した 5 つの分野の考え方に加えて、以下の科目群が編成されます。科目ごとの特性に応じた編成をすることで学生の主体的な学びを促進することが目的です。1 年次以降に担当する科目を「基礎教養」、2 年次以降に担当する科目を「発展教養」として定めます。どの科目がどの科目群に属しているかなどの詳細については細かく分かれておりますので、入学してから履修要項などをみて確認するようにしてください。ここでは概要について説明します。

【基礎教養】 ※1 年次以降に担当する科目

●スタートアップ科目群

→大学の学びを始める学生に教養教育を学ぶ意義や面白さを伝えるための科目群

例) <人文科学系科目部会> : 宗教の世界 A、歴史学のすすめ、教育学 A, B 等

<社会科学系科目部会> : 社会学のすすめ、経済学のすすめ、経営学のすすめ 等

<スポーツ科学系科目部会> : スポーツ科学のすすめ

●ベーシック教養科目群

→学びの基礎となる思考の軸を身につけ、自身の専攻との相対化を図ることで、テーマを持った学びを主体的・意欲的に進めるための科目群

例) <人文科学系科目部会> : 哲学入門、倫理学入門、宗教学入門 等

<社会科学系科目部会> : 社会学のすすめ、経済学のすすめ、経営学のすすめ 等

<自然科学系科目部会> : 数学入門、確率・統計入門、宇宙の科学 I 等

<スポーツ科学系科目部会> : 現代社会とスポーツ、スポーツ技術学演習 等

●全学共通教育科目群 (学内センター等提供科目)

→学内にある各種センター等の活動等を活かし、現代的なニーズを捉えた科目や社会で必要となる素養を学ぶ科目を開講し全学で共通した学びを提供することを目的とした科目群

例) <キャリアセンター> : キャリア入門 等

<グローバル教育推進センター> : 英語で学ぶ日本の社会 A 等

<ユネスソーシャルビジネスセンター (REC) > : 仏教 SDGs 概論 等

<学修支援・教育開発センター> : ライティング入門 等

<ボランティア・NPO 活動センター> : ボランティア・NPO 活動センター 等

<データサイエンス教育プログラム運営委員会> : データサイエンス・AI 入門 等

【発展教養】 ※2年次以降に配当する科目

●アドバンスト教養科目群

→1年次で学んだ知識や思考を活かした科目を開講し、多様で幅広い視野を身につけ、複合的な気づきにつながる力を育成するための科目群

例) <「仏教の思想」科目部会> : 歎異抄の思想 I、真宗教団史 等

<人文科学系科目部会> : 哲学 B、倫理学 B、アジアの文化 等

<社会科学系科目部会> : 現代社会とメディア、現代社会と法、環境と社会 等

<自然科学系科目部会> : 数学の世界、生命誌、植物の自然史 等

<スポーツ科学系科目部会> : 健康とスポーツ、スポーツと人権・平和 等

●教養教育ゼミナール科目群

→少人数で深い学びのできるテーマの科目を開講し、自由で柔軟な授業内容や運営方法を通じて授業担当者の専門性にも触れることで、自身の学問領域を超えた視点を身につけ、主体的・自立的な学びを自ら展開する力を養うための科目群

例) <人文科学系科目部会> : 教養教育ゼミナール (人文科学)

<社会科学系科目部会> : 教養教育ゼミナール (社会科学)

<自然科学系科目部会> : 教養教育ゼミナール (自然科学)

<スポーツ科学系科目部会> : 教養教育ゼミナール (スポーツ科学)

●アクティブ・ラーニング科目群

→アクティブ・ラーニングや課題解決型の PBL 等の手法を取り入れた科目を開講し、学修者本位の学びや主体的・自立的な学びを引き出すことを目的とした科目群

※「アクティブ・ラーニング科目群」は『発展教養』として位置づけますが、1年次配当科目も含んでいます

例) <社会科学系科目部会> : 人権論 A<1年次~>、現代社会とメディア 等

<自然科学系科目部会> : 自然誌実習、野外観察法

<英語コミュニケーションコース> : Global Understanding in English、Forum

●融合型科目群 (文理融合・領域融合)

→文理に区分された学修体系や自身の専門分野の領域を超え、融合させることで新たな視野を拓き、俯瞰力を養い、総合知を育むことを目的とした科目群

※「融合型科目群」は『発展科目』として位置づけますが1年次配当科目も含んでいます

例) <「仏教の思想」科目部会> : 仏教の世界

<社会科学系科目部会> : 現代社会の諸問題、地理学のすすめ<1年次>

●学部・学部共通コース提供科目群

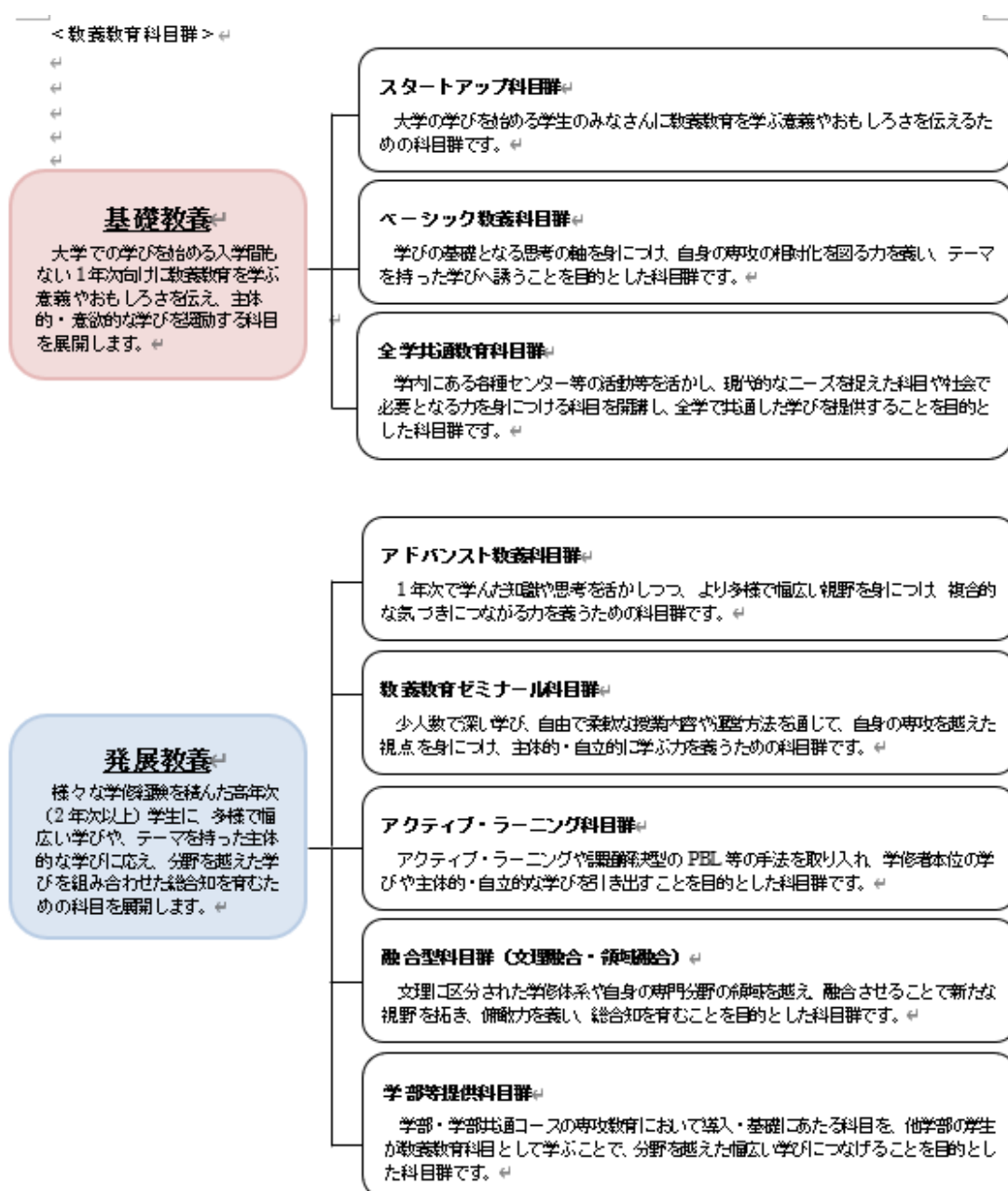
→学部・学部共通コースの専攻教育において導入・基礎にあたる科目を他学部の学生が教養教育科目として学ぶことで分野を超えた幅広い学びにつなげることを目的とした科目群

※教養教育科目としては2年次からの履修を基本としますが、学部等で1年次配当の科目は、1年次での履修を可とする場合もあります

- 例) <文学部提供科目>：サンスクリット語仏典入門 A1、チベット語仏典入門 A1 等
 <経済学部提供科目>：経済英語 I・II・III、経済社会論入門 等
 <政策学部提供科目>：比較社会政策、国際ビジネス論 等
 <国際学部提供科目>：会話分析入門 A、国際関係入門 等

※その他にも「心理学部提供科目」「経営学部提供科目」「社会学部提供科目」「国際関係コース提供科目」「英語コミュニケーションコース提供科目」「環境サイエンスコース提供科目」があります

【教養科目の科目群 概要図】



3-5. 専攻科目について

1年生前期（第1セメスター）に履修ができる専攻科目は、すべて履修指導科目となります（履修指導科目については「3-1. 必修科目・履修指導科目を確認する」を参照）。よって、皆さんはすでに登録がされておりますので手続き等必要がありません。

1年生後期以降においては履修指導科目以外の専攻科目についても履修登録が可能となります。履修要項の「法学部開設科目一覧」等を参考にしながら配当セメスター以降の科目を履修するようにしてください。

3-6. シラバス検索を行う

それぞれの科目の詳しい内容については、web シラバスで確認することができます。シラバスは講義内容・講義計画・成績評価の方法といった授業の詳細が示されたものです。成績評価の方法は定期試験 100%で判断する科目や平常点とレポートで判断する科目など、科目によって異なります。

龍谷大学のホームページトップ下部から web シラバス検索ページにアクセスができますので、科目名や担当者を入力して検索してみてください。

①龍谷大学のホームページトップ下部の「web シラバス」をクリック



The screenshot shows a navigation menu with two columns of links. The link 'webシラバス' is highlighted with a red box. Below the menu is a red footer containing the university's logo and contact information.

researchmap	採用情報
教員データベース	サイトマップ
メディア登場一覧	サイトポリシー
webシラバス	個人情報保護への取り組み
龍谷大学付属 平安高等学校・中学校	アクセシビリティについて
ポータルサイト（学内者向け）	リンク
授業等の休講措置に関する取扱基準	お問い合わせ

 **RYUKOKU UNIVERSITY** 龍谷大学
〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
TEL 075-642-1111 FAX 075-642-8867

②科目名や担当者などを入力し、検索ボタンをクリック

十一検索 | 目次検索

検索条件 検索条件が閉じます

▶ 年度	<input checked="" type="radio"/> 2024 年度	▶ 対象学部	<input type="text"/>
▶ 配当年次	<input type="text"/>	▶ 開講キャンパス	<input type="text"/>
▶ 開講期	<input type="text"/>	▶ 時間割コード	<input type="text"/>
▶ 曜日	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 集中講義・その他	▶ 講時	<input type="checkbox"/> 1講時 <input type="checkbox"/> 2講時 <input type="checkbox"/> 3講時 <input type="checkbox"/> 4講時 <input type="checkbox"/> 5講時 <input type="checkbox"/> 6講時 <input type="checkbox"/> 7講時
▶ 公開後更新日	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> ~ <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> <small>※今年度公開後に更新されたシラバスを検索します。</small>		
▶ 科目名	<input type="text"/> <small>【部分一致で検索】</small>	▶ 担当者 (漢字・カナ)	<input type="text"/> <small>【部分一致で検索】 ※全角文字で検索してください</small>
▶ フリーワード	<input type="text"/> <small>【部分一致で検索】 ※検索に時間を要する場合があります</small>	▶ 属性	<input type="text"/> <input type="button" value="参照"/> <input type="button" value="解除"/>
▶ 履修科目のみ検索	<input type="checkbox"/> 履修科目のみ検索する場合、チェックを入れてください。 <small>※本学学生のみ、ブラウザからのポータルログイン時に利用可能です。(アプリからは利用不可) ※新・旧カリキュラムで合併開講している科目は、複数のシラバスが表示されます。</small>		

一覧表示件数

③検索すると科目が表示される。閲覧したい科目をクリック

7件が該当しました。

No.	年度	属性 ▲	科目名 ▲	開講期 曜講時 ▲	配当年次 ▲	担当者 ▲	更新日時 ▲
1	2024	法学部専攻科目：08年以降入学	現代社会と政治	前期 火2 (U22J 206)	1年次	川崎 修敬	
2	2024	法学部専攻科目：08年以降入学	現代社会と政治	前期 火2 (U22J 207)	1年次	渡辺 博明	
3	2024	法学部専攻科目：08年以降入学	現代社会と政治	前期 火2 (U22J 208)	1年次	瀬畑 源	
4	2024	国際学部：教養教育科目（選択科目）	現代社会と政治	前期 火4 (U24K 629)	1年次～4年次	佐藤 良輔	
5	2024	国際学部：教養教育科目（選択科目）	現代社会と政治	後期 火3 (U23K 680)	1年次～4年次	佐藤 良輔	
6	2024	国際学部：教養教育科目（選択科目）	現代社会と政治	前期 金3 (U53K 712)	1年次～4年次	佐藤 良輔	
7	2024	短大：他学部受講	現代社会と政治	前期 火2	1年次～2年次	瀬畑 源	

④科目の講義概要や講義計画など、シラバスで内容を確認することができる

シラバス管理番号 J000031170

◀前へ 次へ▶

講義概要 Course outline	講義計画 Lecture plan	
講義概要／Course outline		
本講義では、政治学の基本的な概念、制度などを解説する。政治学が対象とする政治は、日々刻々と生じる社会問題に対応して意思決定を行い、行動に移していく営みである。現実に行き起きている政治現象を科学的に分析することで、権力の作用や政策決定の行われ方などを明らかにしていく。この講義を通して、現代社会を見る目を養い、一人の市民として政治や社会のあり方を考える力を身につけてほしい。		
到達目標／Attainment objectives		
①政治に関する基本的な考え方とその仕組みを理解する。 ②自らの生活と政治の動きとを結びつけて考えられるようにする。 ③有権者として民主政治に関わるための心構えを身につける。		
講義方法／Study Method		
・ Powerpointを利用する。 ・ 毎回、資料を配付する予定。 ・ 毎回コメントシートを記入してもらい、次回の冒頭で主要な質問に対する返答を行う ・ シティズンシップ教育の観点から、外部講師による3クラス合同の講演会を行う予定である。		
授業外学習（自主学習（事前・事後学習を含む））の指示／Direction related to study out of class		
授業で配布したレジュメをすべて読み込み、不明点などを自分で調べること。日頃から新聞やニュースを見て、政治問題に関心を持つようにすること。		
系統的履修／System of study		
授業を通じて政治学に関心をもった人は、2年次以降に「政治学原論」「日本政治史」「西洋政治史」「中東政治論」「国際政治論」などの関連科目を受講するとよい。		
成績評価の方法／Grading criteria and method of evaluation (提出された課題等に対するフィードバックを含む) ※2024年度以降)		
種別 Kind	割合 (%) Percentage	評価基準・その他備考 Evaluation criteria

3-7. 具体的に科目を選択する

空いているコマに残り8単位を選択し時間割を組んでいきます。

<完成イメージ> ※これは一例です

	月	火	水	木	金
1 講時	民法（入門・ 総則 I）		アジアの文学 A <2 単位>		英語総合 I (B)
2 講時	初修外国語 I	現代社会と 政治	基礎演習	初修外国語 I	憲法 I A（人権 総論）
3 講時		英語総合 I (A)	仏教の思想 A		
4 講時		宗教学のすすめ <4 単位> ※ペア科目	数学入門 <2 単位>		宗教学のすすめ <4 単位> ※ペア科目
5 講時					

赤字：必修科目

青字：履修指導科目

緑字：選択科目

4. 抽選・選抜登録（第1回履修登録）とオープン登録（最終履修登録）について

以下に履修登録の日程について記載します。詳しい登録方法については4月1日に開催する履修説明会にてお伝えします。※「1-1.用語の解説」も確認してください。

○第1回履修登録期間

4月1日（火）13:00 ～ 4月4日（金）14:00

※26:00～翌日7:00は登録（入力）できません

○最終履修登録期間

4月6日（日）9:00 ～ 4月7日（月）16:00

※26:00～翌日7:00は登録（入力）できません

5. その他

◆抽選・選抜登録科目（第1回履修登録）が“受講不可”となった場合

→“受講不可”となった科目はオープン登録（最終履修登録）時に画面へ表示されません。その場合、オープン登録（最終履修登録）期間に履修可能な別の科目を履修することができます。※履修登録制限単位数まで

◆ペア科目について

→ペアという欄に曜講時が記載されているものは、1週間に2回授業がある「ペア科目」という授業です。

◆通年科目について

→1年間通して授業が行われる科目のことであり、1年間の授業を終えて4単位修得できます。時間割を組む際、前期2単位・後期2単位としてカウントしてください。また、後期に登録したいと思った科目が通年科目と被ってしまって登録ができないということが起きないように、後期の科目まで確認することが大切です。

◆スポーツ技術学演習について

この科目を履修する場合（バドミントンや卓球など）、4年間通してどれか1つしか登録ができませんので注意してください。

以上